

HS-2普及を推進

ケイソーコムニケー
ションズ ヒューミック倶楽部で講演

ケイソーコムニケー
ションズは東京都千代田
区内神田1-13-11が
普及を進めるバイオステ
イミュラント資材「HS
-2プロ」を利用する生
産者と、研究者をはじめ
専門家との協働、技術情
報の共有、研究、普及を

目的とした「ヒューミッ
ク倶楽部」の「第5回総
会」が、2月26日午後に
都内で開催された。
フミン酸・フルボ酸を
同時に抽出した水溶液
「HS-2プロ」は、有
効利用できずに廃棄され
た間伐材を4年かけて完

熟堆肥化し、水だけで抽
出して作られ、その製法
は特許を取得。高温障害
などに悩まされる農家な
どから期待が高まって
いる。また、同会の名称で
あるhumicは「腐植
質」という意味がある。
今回の総会では、小嶋

は「HS-2プロ」を米
作りに利用し、根の生育
が良くなり、収量が多く
なったなどと説明した。
基調講演を行った、弘
前大学名誉教授の青山正
和氏は、バイオステイミ
ュラントとしての腐植物
質の特長として、収植物
の増収と品質向上の促進
などを挙げ、「HS-2
プロ」の超分子構造につ
いて推定されることなど
を解説。青山氏は超親水

な知識や技術のほか「H
S-2プロ」を活用し成
功を収める腐植物家の事例
報告と考察を話した。
そのほかにも充実した
閉会の挨拶を行った。



多くの来場者が熱心に聞いていた会場内

前から支援を
行ってきた会
長の橋本文男
氏（はしもと
農園代表）が
名譽会長に、
新たに御なか
た農園代表取
締役の中田幸
治氏が会長へ
と、それぞれ
就任したこと

康詞事務局長（同社代表
取締役）より、会の発足
が発表され、二人が実践
技術を紹介。中田新会長